

協同

[特集] 内食需要の拡大により販売高が増加
令和2年度JA農産物直売所実態調査の結果と今後の課題

2021
Nov
KYODO 11

兵庫の農業人
HYOGO-NOUGYOUJIN



タッグ!兵庫の農業人

契約栽培の拡大で
農家所得の増大に取り組む

Farmer × JA staff
伊東 敬文さん
酒井 実侑さん
詳細は
裏表紙へ

兵庫の農業人

生産者の皆さんとタッグを組んだ
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中! ▶

▶ YouTube で 兵庫の農業・農協発信ch 検索



今月は JA兵庫西

契約栽培の拡大で 農家所得の増大に取り組む

ミブナの生育状況について話す伊東さん(左)と酒井さん



生産者

ミブナ生産者

伊東 敬文さん

農作物の栽培は作業のひとつひとつに魅力があり、育成過程で愛着が湧きます!夏場に出荷できる作物の栽培に新たに挑戦していきたいです!

JA職員

JA兵庫西 営農販売部
営農販売企画課

酒井 実侑さん

契約栽培品目の拡大や直売所の売上げ増加に向けた取り組みに力を入れています!今後も生産者との関わりを大切に、地域農業振興のために頑張ります!

JA兵庫西は、生産者の安定した収入や出荷先確保のため、漬物会社や量販店などの契約栽培を進めている。

相生市若狭野町の伊東敬文さんは、8年前に水稻農家として就農し、4年前に独立してからはホウレンソウやキャベツ、ブロッコリーなどの野菜を育てている。農業所得を上げるために新たな作物の栽培を考えていたところ、同JAの販売担当者から漬物用ミブナの契約栽培について提案を受けた。伊東さんは、「ミブナという作物に馴染みがなかったが、育てた野菜が漬物に加工されることに興味がわき、栽培に挑戦した」と話す。現在は春と秋冬の2回出荷し、栽培面積の拡大に努めた結果、3年目となる今年の出荷量は約3倍になった。

栽培規模の拡大には、同JAの働きかけが大きく影響した。地区担当の営農指導員をはじめ、生産者と業者を結ぶ販売コーディネーター、そして入組1年目の酒井実侑

さんが伊東さんの畑を訪れ、病虫害対策などをアドバイスする。伊東さんは、「気軽に相談できる、心強い存在」と話す。

同JAでは、販売コーディネーターを中心として野菜の契約栽培に力を注ぐ。作付品目の増加にも取り組み、令和元年以降、ナスやカブなど計6品目が新たに増えた。今後も農家の所得向上と生産拡大に向け、既存の契約先との取引拡大や新規の販路開拓に取り組む。

契約栽培による農業所得増大の取り組み

農家の所得向上・生産拡大に向けて、
食品加工業者や量販店などの
契約栽培拡大に取り組む

令和元年度以降の新規取り扱い品目
(ナス・カブ・スイートコーンなど)

6品目